

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム設楽の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域からは古タオルのほか、柿や椎茸、なめこ、鮎など季節を感じたり、昔を懐かしむ食材が届いたり、地元の小学校では運動会や学芸会に招待くださっています。また小学校で栽培した新茶を小学1年～6年生10数名で持参する訪問行事は10年余となり、中学生となったその子たちと職場体験で再会することもあります。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員の会長や区長、地域の特別養護老人ホーム施設長、高齢者相談センター長（地域包括支援センター）、役場の町民課といった顔ぶれが揃い、豊富な知識や経験を活かしての協議内容は多岐に渡っていて、さながら地域ケア会議のように充実した場と成っています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者はこれまでも地域の老人クラブなどからのリクエストに応じて認知症の講座を受け持ってきましたが、本年3月には役場（北設の医師会も協賛）依頼の講師を務めています。保険者となった東三河広域連合の委員や隣接されたドクターヘリの離発着の係も担当して貢献を続けています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会では口腔ケアの精度や洗濯物のとり違え等、家族が忌憚なく指摘くださるため、都度正して職員の留意点が洗い出されて気遣いも向上しています。家族は遠方でも名古屋との現状からは強く求められるものではありませんが、「1ヶ月の様子」も書面で毎月送り、年1回の家族会も継続しています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	○